

令和6年度 第3回 草津市社会福祉施設指定管理者選定評価委員会議事概要

開催年月日	令和6年10月18日（金）	開催時間	午後1時30分から 午後3時30分まで
出席者	① 委員4名、施設担当職員1名、事務局4名、申請者 ② 委員4名、施設担当職員1名、事務局4名、申請者		
傍聴者	① 0名 ② 0名		
付議事項	指定管理者の候補者の選定に係る意見を求めることについて 『「のびっ子」笠縫』、『「のびっ子」草津』、『「のびっ子」常盤』、『「のびっ子」志津南』、『「のびっ子」大路』、『「のびっ子」老上』の指定管理者の候補者の選定		
<p>1 開会</p> <p>2 『草津市児童育成クラブ「のびっ子」』の指定管理者の候補者の選定【公募】 (笠縫、草津、常盤、志津南、大路、老上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課より施設概要等説明 ・申請者プレゼンテーション①（笠縫、草津、常盤、志津南、大路） ・質疑応答 ・申請者プレゼンテーション②（草津、大路、老上） ・質疑応答 ・審査・採決（非公開） <p>3 事務連絡</p> <p>4 閉会</p>			

- ◆令和7年3月31日で指定期間満了を迎える「草津市児童育成クラブ」6施設（「のびっ子」笠縫、「のびっ子」草津、「のびっ子」常盤、「のびっ子」志津南、「のびっ子」大路、「のびっ子」老上）において、申請のあった団体（以下「申請者」という。）が指定管理者として適任かどうか審議を行った。

①『「のびっ子」笠縫』、『「のびっ子」草津』、『「のびっ子」常盤』、『「のびっ子」志津南』、『「のびっ子」大路』、『「のびっ子」老上』

1 担当課説明

施設概要や評価のポイント等について説明

2 申請者によるプレゼンテーションおよび質疑応答

- ◆労働者協同組合労協センター事業団（以下「労協」という。）による申請内容の説明：
略

（以下 質疑応答）

- <委員（以下「委」という。）>：①特別な配慮が必要な児童について、具体的にどのような対応をしているのか。②保護者からの苦情対応について教えてほしい。
- <労協>：①特別な配慮が必要な児童について、現場には放課後児童支援員の資格を持っている職員もあり、どのような支援をしていくのか保護者とともに考えている。また、入所前に個別に保護者へ悩みや必要な配慮の内容等を確認している。②苦情発生時はまず各現場の責任者や常駐の支援員へ連絡がいくような体制となっている。苦情内容によっては滋賀事業本部へ報告をし、必要に応じて本部が対応している。大きなクレームであれば、東京本部にコンプライアンス部という部門があり、そちらが対応することもある。
- <委>：苦情対応に対する第三者委員のような機関は存在するのか。クレームを出すことは可能か。保護者へ周知はしているのか。
- <労協>：法人全体だと第三者委員会は設置している。クレームを出すことは可能だが、保護者への周知はしていない。
- <委>：特別な配慮が必要な児童について、アセスメントシートを作成すると記載があったが、どのように作成し利用しているのか。
- <労協>：入所説明会にて個別面談を行っており、保護者と児童から聞き取りを行った職員が作成している。会議で情報を共有する。
- <委>：市内5か所で公設の児童育成クラブの運営をしているメリットがあれば教えてほしい。
- <労協>：職員数が多いため、活発な意見交換による行事の企画・立案ができる。また、急な休みに対応する応援体制が整っている。
- ◆特定非営利活動法人スポキッズ（以下「スポキッズ」という。）による申請内容の説明：略

（以下 質疑応答）

- <委員（以下「委」という。）>：①特別な配慮が必要な児童について、具体的にどのような対応をしているのか。②体育活動が一番の強みと考えてよいのか。
- <スポキッズ>：①まず、入所申請の段階で加配の希望を確認し、保育園に引継ぎ事項

等を確認した後、保護者と懇談で求める支援やしてほしいこと等のすり合わせを行う。

②法人としての一番の強みは体育活動である。体育活動と言っても跳び箱や鉄棒等の個人技能を高めるものではなく、ストレッチで体の柔軟性を高めたり心肺機能を高めたりといった、楽しくみんなが実施しやすいものに取り組んでいる。次に、提案上の強みは民設との連携である。「のびっ子」老上に対応する民設として、スポキッズ老上やスポキッズ老上第2があり、「のびっ子」大路や「のびっ子」草津に対応する民設として、既にスポキッズ大路やスポキッズ草津を運営しているため、これらの施設を生かして、公設と民設とで連携を図りたいと考えている。

<委>：公設と民設の連携によるメリットとは何か。

<スポキッズ>：まず、多くの場合、保護者の第1候補となるのが公設である。低学年の頃は公設に入れても定員の都合上学年が上がるにつれて公設には入りづらくなる。次の選択肢として同一法人が運営している民設があれば、顔見知りの職員や児童がいることによる子どもの安心感、質の高い情報共有による保護者の安心感につながると考えている。

<委>：今の話は利用者側のメリットだと思うが、運営上のメリットはあるか。

<スポキッズ>職員の異動において、柔軟な対応ができる。また、公設の力は強いと考えており、地域と連携した取組を行う際に円滑な調整が可能となる。

<委>：体育教室については全員が無料で参加できるとのことだが、夏のキャンプ等の課外活動や保護者ニーズに合わせた授業の拡充等の取組については費用がかかるのか。

<スポキッズ>体育活動は通常のプログラムの中で保育の活動として実施するもので、無料である。課外活動や授業の拡充等の自主事業については、実費もしくは一部を保護者の方に負担いただいている

<委>：年齢構成はどうなっているのか。

<スポキッズ>「のびっ子」老上については、1年生が60人、2年生が30人の合計90人である。

<委>：申請書に記載されている人件費について、経理担当者等の給料も含まれているのか。

<スポキッズ>現場で勤務する正規職員と非常勤職員の給与のみが記載されている。経理事務や総務事務担当者については、法人本部に勤務しているため、今回の申請では計上していない。

<委>：地域による申請内容の違いはあるのか。

<スポキッズ>「のびっ子」老上については既に運営しており、継続していくという内容である。草津と大路は既に長く民設を運営しており、それらと連携して市内の中心地であるこの場所で2施設を運営させていただきたいという内容である。

3 採決

◆「のびっ子」笠縫、「のびっ子」常盤、「のびっ子」志津南

各委員による採点の結果、最低基準点を上回っており、出席委員全員の賛成が得られたことから、指定管理者として「労働者協同組合労協センター事業団」を候補者とするのが適当であるとの結論に至った。

◆「のびっ子」老上

各委員による採点の結果、最低基準点を上回っており、出席委員全員の賛成が得られたことから、指定管理者として「特定非営利活動法人スポキッズ」を候補者とすることが適当であるとの結論に至った。

◆「のびっ子」草津、「のびっ子」大路

各委員によるそれぞれの申請者の採点后、いずれの団体も最低基準点を上回っており、その中で最も高い得点を得た、「労働者協同組合労協センター事業団」を指定管理者の候補者とし、その次に評価点の高い「特定非営利活動法人スポキッズ」を次点候補者とすることが適当であるとの結論に至った。